

創学350年の向こうへ ～生徒による行動憲章～

校長 香山 真一

同窓会会員の皆様におかれましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。



和気閑谷高校は、来年、創学350年を迎えます。記念事業実行委員会では、来年10月16日（金）に開催する記念式典の日をホームカミングデーとし、同窓会会員の方々に母校を訪ねていただける企画を練っております。



今年は、文部科学省の「地域との協働による高校教育改革推進事業【地域魅力化型】（全国20校）」の指定を受けました。そこで、本校生徒の8割が居住する和気町・赤磐市・備前市の首長や商工会長等で構成する和気閑谷高校魅力化推進協議会を立ち上げ、本校の持続発展と地域の活性化について協議を重ねて参ることにいたしました。また、岡山大や岡山商科大、山陽学園大、中国学園大等との高大接続部会、1町2市の役場や役所、商工会や商工会議所等との産学官連携部会、小中高接続部会の3部会も立ち上げました。こうした地域協働を進めるのは相当なエネルギーが必要になりますが、それほどの危機感が背景にあります。人口減少が進む中、令和5年以降2年続いて、1学年の生徒数が80名未満になれば募集停止、100名

未満になれば再編整備の対象になるという本県の高校教育体制整備の実施計画が策定されたからです。

そうした中、生徒たちは昨年度全校で考案したスローガン「挑愛～伝統と絆を未来へ～」を実現するために、「行動憲章」を策定してくれました。しかも、旧閑谷学校の「勤・儉・信」を承継ぐかたちです。「勤：絶えず目標を立て、懸命に取り組む」「儉：失敗を意味あるものにする」「信：仲間の挑戦を支える」。一人ひとりが自分の可能性に挑戦するとともに、団結や絆、恕の心を創学350年の向こうへとつないでいこうというものです。今後、生徒が主体的に参画できる学校づくりを、希望を持って進めて参りたいと勇気づけられています。

同窓会会員の皆様におかれましては、和気閑谷高校の危機と希望に思いを致していただき、一層のお力添え、ご支援をお願い申し上げますとともに、同窓会のさらなるご発展と皆様のご健勝を切にお祈りして、ご挨拶といたします。



岡山商科大学との包括連携協定締結 2019.7.16

★同窓会役員一覧

会長 (1)	副会長 (3)	監事 (2)	顧問 (2)
内山 登	延藤 安茂 横林 光司 徳永 夕子	和田 敬子 吉房 順治	橋本 亨智子 森崎 岩之助
理事 (9)		校内理事 (7)	
大森 直徳	高橋 隆一	香山 真一 (校長)	上野 修嗣 (教頭)
古川 美保	国友 道一	神田 明夫 (事務長)	赤畠 真一
松嶋 孝則	守井 秀龍	和氣 徹	頓宮 美紀
徳光 泰弘	清水 富江	《事務局》高原 晃一	
内田 太		会計担当 (1)	藤原 義昌